
学修用語集

大学には、高校では用いられていなかった大学独特の言葉、また大学ごとに特色のある使われ方をする言葉があります。どちらも大学における学修生活の中でよく登場しますので、意味をしっかり押さえておかなければなりません。

ここでは、大学での学修に関する用語を解説します。

あ行

Outlook (あうとるっく)

Microsoft社のパソコンソフト。メールソフトとして一般的なものの一つ。

e-mail (いーめいる)

電子的な手紙のこと。「電子メール」とも呼ばれる。

Excel (えくせる)

Microsoft社のパソコンソフト。表計算ソフトとして一般的なものの一つ。

演習 (えんしゅう)

大学の授業形式の一つ。学生が主体的に課題に取り組む。

OPAC (おーぱっく)

Online Public Access Catalogの略語。インターネットを通じて、図書館の蔵書を検索するシステム。

オープンキャンパス (おーぶんきゃんぱす)

高校生向けの一身体験。在校生ボランティアによるサポートが重要。

オフィスアワー (おふいすあわー)

学生の質問や相談に応じるため、先生が研究室にいる時間のこと。この時間はアポイントメントなしで訪問することができる。

オリエンテーション (おりえんてーしょん)

授業などの最初に、その内容やルールなどを説明し、新たな環境への順応をはかること。「新入生オリエンテーション」「実習オリエンテーション」など。

か行

ガイダンス (がいだんす)

様々な事態に際し、自主的な解決を促すべく、必要な情報や助言を与えること。「就職ガイダンス」など。

学位 (がくい)

一定の教育課程を修了するか、それと同等の業績が認められた人に授与される称号。大学を卒業すると「学士」、大学院を卒業すると「修士」や「博士」の学位が授与される。

学士 (がくし)

学位の一つ。大学などの卒業者に与えられる。
⇒がくい

学生証 (がくせいしょう)

大学生であることを証明する身分証。常に携帯すること。

学生相談室 (がくせいそうだんしつ)

学生が健康で充実した学生生活を送るために、臨床心理士が様々な悩みや不安などの相談に応じる場所。各キャンパスに設置され

ている。

学生担当教員 (がくせいたんとうきょういん)

学生担任、学担、クラス担任ともいう。学生生活全般に対する質問や相談に応じる。

学籍番号 (がくせきばんごう)

学生証に記載されているID番号。書類作成や試験などでの記入が必要なもの。

⇒がくせいしょう

学内団体 (がくないだんたい)

課外活動を目的に申請および認可された学生主体の団体。「サークル」や「クラブ」などと通称されることもある。

学会 (がっかい)

研究成果の発表や情報交換を目的に領域・分野ごとに組織された団体。その団体が主催する研究集会を指すこともある。

カリキュラム (かりきゅらむ)

教育目的に基づく教育課程のこと。学科ごとに異なる。

仮進級 (かりしんきゅう)

1年生から3年生までの各学年の進級時に必修科目の単位取得が足りない場合、一定の条件のもと進級の審査を受けること。

基礎教育科目 (きそきょういくかもく)

学生の人間的成長のための知性と感性を育て

る目的で設定された科目。本学では、医学の対象となる「人間」を理解するために必要な知識を学ぶ。

CAP制 (きゃつぷせい)

年間に履修することのできる上限のこと。各学科、各年次により上限単位数が異なる。

キャンパス (きゃんぱす)

大学の建物や敷地のこと。日本医療大学は真栄キャンパスと、恵み野キャンパスに分かれている。

休学 (きゅうがく)

病気などやむない理由が認められたとき、大学に在籍したまま、一定期間の修学を休むこと。

休講 (きゅうこう)

授業が休みになること。掲示板をとおした連絡となる場合がある。補講が設定されることに注意。

教授 (きょうじゅ)

大学教員の肩書きの一つ。研究・教育職の最高位。

掲示板 (けいじばん)

大学内に設置されている連絡用のボードのこと。授業連絡や学生呼び出しなど様々な案内もここに張り出される。

研究室 (けんきゅうしつ)

専任教員の私室。

後期 (こうき)

夏季休暇後、3月までの授業期間のこと。

講義 (こうぎ)

大学の授業形式の一つ。比較的大人数で聴講することが多い。

講師 (こうし)

大学教員の肩書きの一つ。准教授に次ぐ立場。

コマ (こま)

授業の数え方の単位。90分の授業一つを一コマと呼ぶ。

失格 (しっかく)

ある科目における授業実施時間数の3分の2に満たない出席状況により、定期試験の受験資格を喪失した状態。

事務局 (じむきょく)

履修・授業や学生生活などに関する各種事務手続き業務を担当する窓口。

実習 (じっしゅう)

大学の授業形式の一つ。実際の体験をとおして学ぶ授業。

⇒りんしょうじっしゅう/りんちじっしゅう

修士 (しゅうし)

学位の一つ。大学院に2年から4年在学して所定の単位を修得し、修士論文などの審査に合格した者に与えられる称号。マスターとも呼ばれる。

⇒がくい

集中講義 (しゅうちゅうこうぎ)

長期休暇中に集中的におこなわれる講義。総時間数は変わらない。

准教授 (じゆんきょうじゆ)

大学教員の肩書きの一つ。教授に次ぐ立場。

奨学金 (しょうがくきん)

経済的な理由で勉学が中断されないように、無利子または有利子にて貸与されるお金のこと。「日本学生支援機構」など諸団体のもの、

さ行

再試験 (さいしけん)

定期試験あるいは追試験により単位認定に必要な得点に達しなかった科目について、手続きを経ておこなわれる条件付きの試験。

再履修 (さいりしゅう)

単位が取れなかった科目について、翌年度以降に再び履修をすること。

GPA (ジーピーイー)

成績評価法の一つ。進学や留学の際に重視される。

病院や市町村のものなどがある。

助教 (じょきょう)

大学教員の肩書きの一つ。講師に次ぐ立場。

助手 (じょしゆ)

大学教員の肩書きの一つ。教育を補佐する役割。

除籍 (じよせき)

在学期間の超過や学費未納などで、学籍を取り消されること。

シラバス (しらばす)

その年に開講される科目すべての授業内容や計画が記載されているもの。履修科目や時間割を決めるときに参照する。

進級要件 (しんきゅうようけん)

進級するために必要な科目の履修条件のこと。各学科、各年次により内容が異なる。

成績証明書 (せいせきしょうめいしょ)

大学での成績を証明する書類。就職や大学院への進学の際などに必要となる。

成績表 (せいせきひょう)

これまでに履修した科目の成績や、単位取得状況をまとめたもの。

ゼミ (ぜみ)

大学の授業形式の一つ。ゼミナールの略。先生の指導のもと、少人数の共同作業でおこな

われる参加型の授業。

前期 (ぜんき)

4月より夏季休暇までの授業期間のこと。

先修要件 (せんしゅうようけん)

実習の前提となる履修科目指定のこと。各学科、各年次により該当科目が異なり、また科目ごとに前提も異なる。

選択科目 (せんたくかもく)

必修科目以外に、卒業要件を満たす単位数の範囲で各自の興味に応じて自由に選択履修する科目。

専門基礎教育科目 (せんもんきそきょういくかもく)

専門職業人として医療を実践するために不可欠な保健医療福祉の基礎知識を学ぶ目的で設定された科目。

専門教育科目 (せんもんきょういくかもく)

各領域における専門職業人として必要な専門的知識・技術を学ぶ目的で設定された科目。

卒業研究 (そつぎょうけんきゅう)

学修した専門的知識を深め、個別に設定した課題の研究成果をまとめておこなう、大学での学習の集大成。

⇒そつぎょうろんぶん

卒業要件単位 (そつぎょうようけんたんい)

卒業するために必要な単位数。科目群ごとに

設定され、合計で124単位以上が卒業要件である。

卒業論文 (そつぎょうろんぶん)

大学での学習の集大成として提出するレポート。学科や専攻によって必要とされない場合もある。「卒論」と略されることもある。

た行

体育大会 (たいいくたいかい)

日本医療大学の学友会主催行事の一つ。

退学 (たいがく)

何らかの理由で学生自ら大学をやめること。

大学院 (だいがくいん)

研究を深めるために進学する機関。修士課程（マスターコース）と博士課程（ドクターコース）がある。進学のためには入学試験を受けなければならない。学部とは異なる大学の大学院を受けることもできる。

単位 (たんい)

科目の履修が修了したことを認定する証。科目によって、単位数が異なることがある。

追試験 (ついしけん)

定期試験を欠席した者に対し、あとから特別におこなわれる試験。欠席の理由が正当と認められる場合のみに設定される。

な行

日医祭 (にちいさい)

日本医療大学の大学祭の通称。学友会の子催行事の一つ。

は行

博士 (はくし)

学位の一つ。大学院の博士課程を修了し、博士論文の審査および試験に合格した者、または論文審査・試験に合格した者に与えられる称号。ドクターとも呼ばれる。

⇒がくい

PowerPoint (ばわーぽいんと)

Microsoft社のパソコンソフト。紙芝居のようなスタイルでスクリーンに映写される。プレゼンテーションにおける必須アイテム。

PDF (ぴーでいーえふ)

アドビシステムズ社が開発した電子文書のファイル形式。パソコンの機種やOS環境に依存しない表示が可能。

非常勤講師 (ひじょうきんこうし)

大学教員の肩書の一つ。所属先以外にて講義のみを担当する。

必修科目 (ひっしゅうかもく)

専攻ごとに定められた、必ず履修しなければならない科目群のこと。不合格になると進級や卒業に影響する。

プレゼンテーション (ぶれぜんてーしょん)

自分の伝えたい内容を、言葉や資料で説明する行為。「プレゼン」とも略される。

補講 (ほこう)

休講になった授業分を補うため、別の日におこなわれる授業。

保護者懇談会 (ほごしゃこんだんかい)

年1回、大学における学生の過去1年間の学修状況や生活状況などについて、大学側が保護者を対象に説明をおこなう機会。

ら行

履修登録 (りしゅうとうろく)

自分の受けたい科目を登録すること。登録しないと受講資格が得られない。学内システムを利用して手続きする。

履修登録訂正期間 (りしゅうとうろくていせい きかん)

履修科目の変更や辞退をおこなう期間のこと。履修登録期間の翌週に設定されている。

履修無効 (りしゅうむこう)

ある科目についての定期試験を欠席し、欠席届も未提出のため、追試験資格を喪失した状態。

留学 (りゅうがく)

一定の期間、外国あるいは国内の大学において学修をすること。

留年 (りゅうねん)

必要な単位の認定がなされず、進級や卒業ができないこと。

臨床実習／臨地実習 (りんしょうじっしゅう／ りんちじっしゅう)

医療従事者を目指す学生が理論・知識・技術を学んだあと、実際に病院や診療所、福祉施設へ行って実践的な臨床を学習する授業。

レジュメ (れじゅめ)

授業やプレゼンテーションの際に配布される、内容の要約資料のこと。配布資料ともいう。発表の際には自ら用意する。

レポート (れぽーと)

調査・研究の報告書。授業内容や調べたことをまとめたり、根拠に基づく主張をおこなったりする。

わ行

Word (わーど)

Microsoft社のパソコンソフト。文書作成ソフトとして一般的なものの一つ。